

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	基本	ISO4001を取得しているほか、シチズングループの環境方針、シチズングループ環境ビジョン2050を公開している。SDGs達成に向けたグローバルな環境経営を推進し、シチズングループ環境目標2030を制定している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	基本	ISO4001を取得しているほか、シチズングループの環境方針、シチズングループ環境ビジョン2050を公開している。SDGs達成に向けたグローバルな環境経営を推進し、シチズングループ環境目標2030を開示している。												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	建設中の新棟にて太陽光パネルを設置予定。グループとしての再エネ利用推進。							7.2						13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	基本	グリーン調達基準を設けている。法律への対応をより強固にするため、外部調達先の環境監査や有害物質が含まれる可能性が高いハイリスク品に対する分析等も実施している。													12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範や申請制度を整備しているほか、e-ラーニングなどの教育により社内浸透を図っている。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	シチズングループ行動憲章に、「公正・透明・自由な競争・責任ある商行為の実践」が明記され、全社員が携帯している。																		16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	シチズングループ行動憲章に、「知的財産の管理」について明記され、全社員が携帯している。また、発明内容を掘り下げ賞の高い権利になるように努めている。また、専門知識を有する親会社と協力し業務を進めている。									8.2	9	8.3									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護規程」などの規定が整備されている。また、HPにはプライバシーポリシーについて掲載している。																		16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	基本	弊社が製造販売している工作機械は紛争鉱物の対象外(非該当)である。ただ、お取引先様に配付している「シチズングループCSR調達ガイドライン」の中に紛争鉱物を使用しない方針を記載しており、協力をお願いしている。																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	基本	毎年取引先様方針説明会を開催し、取引先様とのコミュニケーションを図っているほか、シチズングループ行動憲章の中に、「取引先様との関係」について明記され、全社員が携帯している。また、「シチズングループCSR調達ガイドライン」を配付し、その中で人権、労働、他の項目が記載されており協力をお願いしている。					5						8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	シチズングループ行動憲章に、「安心・安全、品質、環境に十分配慮して製品・サービスの提供」について明記され、全社員が携帯している。ISO9001を取得しており、その中に安全性(製品安全規定他)を確保する仕組みがある			3.9											12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	シチズングループ行動憲章に、「安心・安全、品質、環境に十分配慮して製品・サービスの提供」について明記され、全社員が携帯している。ISO9001を取得しており、その中に品質を確保する仕組み(品質保証体系図他)がある												9								
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	基本	シチズングループ行動憲章に、「安心・安全、品質、環境に十分配慮して製品・サービスの提供」について明記され、全社員が携帯している。LFV(低周波振動切削)技術や摩擦接合技術を活用した残材削減機能をはじめとする当社の独自技術は環境課題にも寄与する。							6								12	13	14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	上記環境課題への寄与もそうだが、当社のサービス「アルカプリソリューション」では、技術者不足や教育支援などにも寄与する。サステナブルな社会の構築を目指し、今後も製品・サービス・技術の開発に取り組んでいく。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	チャレンジ	各事業所ではそれぞれの市町村の条令に沿って、水、土壌、騒音他 事業が地域に与える影響を監視等の対応を実施している。 事業所周辺のゴミ拾い活動を定期的実施しているほか、現在はSDGs推進チームの中で地域貢献を目的とした施策を検討している。					4								9			11	12			14	15									17
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本	シチズングループ行動憲章「良き企業市民として、地域社会に貢献し、地域社会との共生を目指します」に基づく、「シチズングループ社会貢献方針」を定めており、社会の一員として、社会に役立つ事業活動を行い、グループ各社が関わりをもち、地域社会とのつながりを大切に、地域の活性化に協力していくことを目指している。 「シチズン社会貢献活動派遣制度」では、シチズングループの社員が国内外の各所に赴き、その地域における社会課題と向き合い支援活動をしている。					4												11						14	15						17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ	SDGs推進チームの中で地域貢献を目的とした施策を検討している。														8	9			11	12	13										
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	経営理念やそれに付随する事業ビジョン、事業コンセプト、ミッション、バリューなどを明文化し冊子にまとめたコンセプトブックを全従業員が所持している。 中期経営計画立案時などの場では必ずこの考え方を基に検討がされているほか、上記浸透のための組織(インナーブランディングプロジェクト)があり、定期的な会合により浸透活動が活発化されている。														8	9															17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	シチズングループ行動憲章に、「法令遵守」について明記され、全社員が携帯している。そのほか安全保障貿易委員会をはじめ各種委員会があり法令遵守する仕組みがある。																														16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	監査・CSR室の設置や、グループ全体でのサステナビリティ委員会の設置、当社独自のSDGs推進チームがある。																														16
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	展示会やイベントなどのほか、適宜ステークホルダーとの対話を通して、ステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している。グループとして、ステークホルダーエンゲージメントの向上も推進している。																													16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	基本	監査・CSR室が中心となり、各種リスクマネジメントを行うプロセスが整備されている。																														16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	基本	CSRの考えに基づき、社会的責任について理解し、推進している。取り組み内容については、グループとして毎年「サステナビリティ・CSR報告書」にて外部公開している。																														16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	基本	BCPを策定しており、毎年各事業所で避難訓練や、BCP対応訓練を実施しているほか、安否確認システムを導入している。																9			11		13 13.1								16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	基本	グループとして長期視点での後継者育成がされており、必要な対策が取られている。															8	9													17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																		
SDGs達成に向けた組織の発足	SDGs推進チームを発足した。																																			

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)